

人・農地プラン

市町村名	集落/地域名	当初作成年月	更新年月(1回目)	更新年月(2回目)	更新年月(〇回目)
川越市	日東地域	平成31年3月			

1. 今後の地域の中心となる経営体（担い手）

中心経営体 1 1 経営体（うち認定農業者 1 経営体）

2. 地域における担い手の確保状況

担い手は十分確保されている 担い手はあるが十分ではない 担い手がいない

3. 将来の農地利用のあり方

取組事項	対応	
担い手に集積・集約化する	○	今後も、農業委員会農地情報などをもとに、農地の出し手と受け手の情報をマッチングさせ、農地耕作者の確保に努める。
担い手の分散錯圖を解消する	○	
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する	○	
耕作放棄地を解消する	○	
その他[右欄に自由に記載]	○	

4. 3についての農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応	
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	今後、農地の出し手情報があった場合は、個別の農地の賃借や売買以外に、農地中間管理事業の活用も検討する。活用する際は、地域の中心となる経営体を含む地元での協議の場を設けた上で、農地の集積を実施する。
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	
担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○	
その他[右欄に自由に記載]	○	

5. 近い将来農地の出し手となる者と農地

近い将来農地の出し手となる農業者(氏名)	年齢	現状		計画 [5年後]		利用しなくなる農地面積	農地中間管理機構への貸付け希望の有無	
		経営内容(作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)	経営内容(作目)	経営規模の合計(ha、頭数等)		農地面積	貸付時期
	才		ha		ha	ha	ha	
	才		ha		ha	ha	ha	
	才		ha		ha	ha	ha	
	才		ha		ha	ha	ha	
	才		ha		ha	ha	ha	

6. 今後の地域農業のあり方

今後の地域農業のあり方(地域の中心となる経営体とそれ以外の農業者を含めて)		
取組事項	対応	コメント
生産品目の明確化		日東地域は水田を中心に野菜や果樹栽培も行なわれているが、小規模経営の農家が多く、後継者や担い手が少ない。また、整地のされていない区画が多く、農地の集積・集約化が難しい地区もある。今後も、地域の中心となる経営体を主とした意見交換の場を設け、定期的に地域の営農状況の把握及び耕作放棄地など情報共有し、担い手の確保や農地集積方法について協議していく。
複合化	○	
6次産業化	○	
高付加価値化	○	
新規就農の促進	○	
その他[耕作放棄地の解消]	○	